

| | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------|--------------------------------|------|--------------|------|----|-----|---|--------------------|----------|
| 授業科目 | 看護学 | | | | 実務家教員担当科目 | ○ | | | | | |
| 単位 | 4 | 履修 | 選択 | 開講年次 | 2 | 開講時期 | 後期 | | | | |
| 担当教員 | 増本 由紀子 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>看護学の基礎を理解して、養護教諭の理論と実践的な考察に発展させる科目であり、看護理論、看護倫理、及び看護過程を学ぶことで、看護の対象となる人々への尊厳と援助に対する基本的姿勢を培う。養護教諭の実務経験を活かして、養護教諭の活動の基礎となる看護学の概論について解説する。</p> <p>ヘルスアセスメントの基本と系統的なアセスメントについて解説し、学校で根拠ある的確な養護診断と救急処置が行えることを目指す。また、小児期の成長発達、健康、疾患と看護について解説し、学校保健活動での救急処置、保健指導、及び保健管理のための基礎知識として理解を深める。</p> | | | | | | | | | | |
| 授業形態 | 対面授業 | 授業方法 | PBL、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション | | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | | | | | |
| 標準的レベル | <p>看護理念と看護倫理、看護過程、小児期の看護について理解を深め、養護教諭の専門性の基盤となる看護力と態度を培う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護とは何か、自己の考えを表すことができる。 2. 看護倫理について説明できる。 3. 看護過程を理解し、養護の活動過程・養護診断に考えを発展できる。 4. フィジカルアセスメントを理解し、説明できる。 5. 小児期の特徴（発達、健康、疾患）を理解し、看護について説明できる。 6. 救急処置の根拠を理解し、看護と援助について説明できる。 7. 疾患や病態について信頼ある的確な情報収集を行い、整理・説明できる。 | | | | | | | | | | |
| 理想的レベル | 標準的なレベルの全てを達成した上で、演習等の課題に積極的に取り組む。医学的知識かつ看護的ケアについて科学的根拠をもって理解を深化させ、養護教諭としての学校保健活動における発展的な考察を加え、説明できるレベルを理想的なレベルとする。 | | | | | | | | | | |
| 評価方法・評価割合 | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | | 評価割合（数値） | | | 備考 | | | | | | |
| 試験 | | 50% | | | | | | | | | |
| 小テスト | | 0 | | | | | | | | | |
| レポート | | 10% | | | | | | | | | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | | 30% | | | | | | | | | |
| レポート外の提出物 | | 0 | | | | | | | | | |
| その他 | | 10% | | | グループワーク等の貢献度 | | | | | | |
| カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
| DP1 | ○ | DP2 | ○ | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | ○ | ナンバリング | WE21511J |
| 学習課題（予習・復習） | | | | | | | | | | 1回の目安時間（時間） | |
| <p>予習：テキストと解剖学テキストの該当ページを読む。医学概論の復習をしておく。</p> <p>復習：テキストと配布資料等を整理し、該当する解剖生理学や疾患について併せて復習する。</p> | | | | | | | | | | 4 | |
| 授業計画 | | | | | | | | | | | |

| | |
|------|--|
| 第1回 | オリエンテーション 看護とは：ナイチンゲールとヘンダーソンの理論に学ぶ |
| 第2回 | 看護とは：ナイチンゲールとヘンダーソンの理論に学ぶ 書籍をとおして看護活動とその理論を学び整理する |
| 第3回 | 看護理論と看護倫理 看護理論から看護について考え、看護倫理について解説する |
| 第4回 | 子どもと家族・学校・地域の理解 子どもを中心とした看護の対象について解説する |
| 第5回 | 看護過程 看護過程について解説し、事例をとおして学ぶ |
| 第6回 | 養護教諭の活動過程 養護教諭の活動過程について解説し、事例をとおして学ぶ |
| 第7回 | 小児の成長・発達と健康、看護（1） 小児と小児看護の特徴について解説する |
| 第8回 | 小児の成長・発達と健康、看護（2） 小児の健康課題について解説する |
| 第9回 | 学齢期の子どもの健康課題（1） 新聞記事をもとに子どもの健康課題を考察する |
| 第10回 | 学齢期の子どもの健康課題（2） 災害給付状況から学校での傷病について解説する 【外部講師】 |
| 第11回 | 養護診断（1） アセスメントについて解説する |
| 第12回 | 養護診断（2） 緊急度の判断について解説する |
| 第13回 | 学齢期にみられる症状と看護（1）：歯・口腔 疾患と学齢期の特徴について解説し、事例検討をする |
| 第14回 | 学齢期にみられる症状と看護（2）：眼 疾患と学齢期の特徴、看護について解説し、事例検討をする |
| 第15回 | 学齢期にみられる症状と看護（3）：耳・鼻 疾患と学齢期の特徴、看護について解説し、事例検討をする |
| 第16回 | 学齢期にみられる症状と看護（4）：精神 疾患と学齢期の特徴、看護について解説し、事例検討をする |
| 第17回 | 学齢期に多い急性期症状と看護（1）：外科的症状 傷病と救急処置について解説する |
| 第18回 | 学齢期に多い急性期症状と看護（2）：外科的症状 傷病と救急処置について解説する |
| 第19回 | 学齢期に多い急性期症状と看護（1）：内科的症状 傷病と救急処置について解説する |
| 第20回 | 学齢期に多い急性期症状と看護（2）：内科的症状 傷病と救急処置について解説する |

| | |
|-----------------------|--|
| 第21回 | 学齢期にみられる慢性疾患と看護(1)：アレルギー アレルギー疾患と学校での保健管理について解説し、事例検討をする |
| 第22回 | 学齢期にみられる慢性疾患と看護(2)：糖尿病 糖尿病と学校での保健管理について解説し、事例検討をする |
| 第23回 | 学齢期にみられる慢性疾患と看護(3)：心疾患 心疾患と学校での保健管理について解説し、事例検討をする |
| 第24回 | 学齢期にみられる慢性疾患と看護(4)：医療的ケア 慢性疾患と医療的ケアについて解説し、事例検討をする |
| 第25回 | 性に関する看護(1) 助産師の役割、活動の実際について解説する 【担当 山田】 |
| 第26回 | 性に関する看護(2) 思春期の健康相談、保健教育の実際について解説する 【担当 山田】 |
| 第27回 | 疾患と看護、学校救急処置(1) 専門書調べと整理 傷病と学校での対応について情報収集を正しく行い、整理する |
| 第28回 | 疾患と看護、学校救急処置(2)：発表 整理した傷病と学校での対応について発表する |
| 第29回 | 疾患と看護、学校救急処置(3)：発表 整理した傷病と学校での対応について発表する |
| 第30回 | 看護学のまとめ 「看護」について考察する |
| テキスト | 遠藤伸子「養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護」(東山書房) 草川功「新版ここがポイント学校救急処置」(農山漁村文化協会) |
| 参考図書・教材/データベース・雑誌等の紹介 | 「系統看護学講座 解剖生理学」(医学書院) *解剖生理学のテキスト 「からだの地図帳」(講談社) 「小児看護学概論」「小児臨床看護各論」(医学書院) 「養護教諭のための看護学」(大修館書店) ほか、講義中に参考図書を紹介する |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 課題や発表については、終了後、全体に対してコメントします。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 看護学では、看護の基礎を学び、養護教諭の理論と実践的な考察に発展させていきます。医学概論、解剖生理学、微生物学等の関連科目の復習、子どもの発達過程や学校保健を理解しておくことが大切です。 また、新聞、報道、ETV(教育関連の放送)等で、子どもの健康と発達に関する情報を収集して、子どもの健康課題に関心を持って講義に臨むと理解が深まります。 |

